

みんなで語ろう！「子どもの夢・未来」ミーティング (北部会場意見概要)

1 府教育委員

岩田教育委員、谷口教育委員

2 傍聴者

15名

3 グループ意見交換概要

○ Aグループ (岩田教育委員 司会 橋本管理部理事)

■ 「次代を担う子どもたちに願うこと」 ■

- ・ 自分の可能性に挑戦して行く人間になってほしい。
- ・ 温かい心で人と向き合い、社会で自分の力を発揮できるようになってほしい。
- ・ 思いやりを持ち、人と接することができる人間になってほしい。
- ・ 家庭や社会とつながりをもてるようになってほしい。

■ 「学校、家庭、地域に願うこと」 ■

- ・ 親が子どもに対し早寝、早起きをするなど、まず、大人が子どもの範となるよう大人が変わることが大切。
- ・ 高校を卒業すれば、一人で生活していくことになるが、それまでに親として、一人で社会に出てやっていける力を付けていくことが大事だと感じている。
- ・ 家庭での子どもとの何気ない会話ややり取りが大切であると感じている。
- ・ 子育ての基本は、家庭である。それぞれの家庭である程度、子どもと会話をしていくことが大切だと感じている。親が子供と関わる時間が出来る時間を大切にし、積極的に親が子どもに関わっていくことが求められる。
- ・ 学校週五日制となり、子どもが学校で過ごす時間より、家庭で過ごす時間が多い。学校で、子どもたちはいいところをもらい、家で、嫌なことを解決していくことが大切と感じる。
- ・ 変動の激しい社会の中で、大人も難しく、子どもにとっても大変難しい時代であるが、学校でできることをきっちりやっていくことが子どもたちの明るい将来のために、今できることであると考えている。
- ・ 学校の取り組みの一つとして、50種目のうち何かに挑戦するという取組を通じて、子どもたちがやればできるというすごさ、可能性を感じる。また、駅伝大会の練習の過程で、代表の子どもは記録が素晴らしいが、駅伝が苦手な子どもほど、練習を通じて大きく記録が伸びるなど、子どもが自信を付けていくことがある。このような経験を通じて、子どもに自分では見えない良さを一緒に見つけていくような取組をしていくことが必要だと感じる。
- ・ 子どもたちにいかに自己肯定感をもたらすかということが大切であると

感じている。様々な子どもがいるが、それぞれに発揮できるものを持っているので、それを引き出したいと感じている。そのためには、結果ではなく、取り組むプロセスを重視することが大切だと感じている。

- ・ 主に食事の観点から若い家庭に働きかける取組を40年間行っている。これらの取組を通じて、朝ご飯を食べていない参加者は人の話がじっくりと聞けない傾向にあることを感じ、朝ご飯や早寝の大切さを実感した。単に朝ご飯を食べるというだけでなく、バランスの取れた食事が大切であり、そのために母親の支援をしていきたいと思っている。
- ・ 家庭教育調べを行っているが、家庭教育費が多い。家庭教育費、塾の費用が多く、幼稚園から塾に行かせている例もある。しかし、一方で食事については、おにぎりやコンビニで済ませたりしている。親が食事を通じて、子どもに心を注ぐことが大切である。
- ・ 食育の取組を通じて、学校、地域では、それぞれの家庭の状況に応じた支援が必要だと感じた。
- ・ 学校には、色々な家庭環境の子どもがいるが、親の不安を取り除くという姿勢で家庭を訪れたりするとよいと感じる。しかし、広い意味での親不在家庭には、学校だけではなく、福祉関係や民生委員など地域とのつながりを通じて関わりを持っていくことが大切であると感じている。
- ・ 非行や不登校の問題は、子どもだけに起因する問題ではなく、社会とのつながりを取り戻すためには、家庭、地域の支援が大切であると感じる。
- ・ 発達障害児支援の取組を通じ、子どもたちにそれぞれの環境を踏まえ、個々に課題をしっかりとらえて、大人が関わっていくことが大切だと感じている。
- ・ PTAなど学校の役員をしている親しか、学校のことを知らないことが多く、学校が敷居を下げ、学級便りなどで親に学校を開いていくことが必要であると感じる。学校は、親との距離を縮める努力が必要。学校に親や地域の人々が訪れることで社会性が子どもに育まれていくいい機会となる。
- ・ 学校だけでなく、少年野球など土曜日に活動をしている団体と子どもの情報を共有し、子どもの良さを地域で育てていく取組が大切。
- ・ PTA役員やOBなど地域でつながりを持ち、地域から学校のPTAを出していくという意識も大切。
- ・ 先生が大変である現状をほとんどの親が知らない現状で、学校への不安はすぐに不信感へと繋がっていく。家庭においても、先生に感謝する気持ちを持ち、また、先生の中にも地域貢献する人やしない人がいるが、全体としてのバランスが大切であると感じる。

○岩田委員

本日は、ありがとうございました。いろんな立場の方から多くの意見を聞くことが出来て良かった。私が子育てした時代とは、子どもを取り巻く状況が大きく変わっており、大変であるが、子どもたちのために様々な取組を充実させていただきたい。また、本日の御意見を生かして、教育委員会としても出来ることをしっかりと、やっていきたい。

○ Bグループ（谷口教育委員 司会 下河邊管理部総務企画課参事）

■ 「次代を担う子どもたちに願うこと」 ■

- ・ 小6、中3の子どもがいるが、当たり前のことを当たり前と考えられ、出来る子どもになってほしいと思う。普通に外に出て人と暮らせるようになってほしいと思う。
- ・ 話す言葉が短いなど、子どもの語彙力が下がってきていおり、相手に言葉で伝える力が大事であると思う。
- ・ 今の子どもたちは、新しいこと、難しいことにおっくうになったり、面倒くさくなったりと意欲が下がっているがいろんなことに興味をもって、意欲的に取り組む子どもに育ててほしい
- ・ 自らの志を楽しむような人間になってほしい。

■ 「学校、家庭、地域に願うこと」 ■

- ・ 社会の大人が今一度社会を見直し、子どもたちに何を期待させるのか考えるときであると思う。
- ・ 何々をしなさいと言うのではなく、自分（大人）の姿で教えていくことを大事にしたい。生きること、考えることを教えられたら良い。
- ・ 人と過ごすとき本来持っているものが目覚めてくる。そのためにもしっかりとした大人の存在が大事である。子どもに夢・未来をのためにも、大人が自分を変えていくという意識がないとだめである。
- ・ しっかりとした大人の中で、信頼できる気持ちを持てれば、人を信頼するようになり、心を開いてくる。そして、自分というものを持って社会参画していくようになる。大人、学校・家庭・地域の教育の力があって子どもは育っていく。
- ・ 学校・地域で取り組んできている森と小川の取組なども成果が出ており、良い取組と思う。昨年、子育てフォーラムでも様々な取組をしたが、子どもたちの眠っている才能を引き出すことが出来る。自然の中でのびのびと体験させることが必要と感じる。
- ・ 子どもたちには、小さいときから様々な体験をさせる、自然体験などの中で、精神力・肉体を鍛えることが大事であると思う。家庭で出来ないのであれば、社会が教えないといけない。
- ・ 子どもには、10歳を1つの節目として、自分で物事を決めるようにすることが必要であると思う。今の学校は子どもを大事にしすぎているように思う。社会は厳しいと言うこと、それぞれが責任をもつということを、家庭、学校で子どもに教えることが必要。
- ・ 昨年、初めての取組として、フォーラムを開催した。高校生も加わり煮干し作りをしたが、子どもたちも喜び、高校生もものすごく活躍していた。高校生にもっと支援してほしいと思う。子どもたちも、礼儀、作法、先輩を見て育っていくし、高校生も生き生きしている。異世代交流など、みんな子どもを育てることが必要。
- ・ 異世代交流という点では、学校のクラブ活動がそれに当たるのではないか。親には生意気な態度をとっても、クラブの先輩にはちゃんと接してい

る。いろんな所に出て行ってこのような力をつけていくことが、社会に出てからでも大事である。地域で交流する取組が重要である。

- ・ 月1回程度地域の女の子を集めて様々な取組をしているが、最初は、合間合間にゲームをしている子どもがいたが、なれてくると遊び方を覚え、外で遊んだりすることが楽しくなってきた、ゲームをすることもなくなる。今の子どもたちは、外で遊ぶことが嫌いなのではなく、遊び方を知らないなのである。眠っている才能を目覚めさせるためにも、大人が仕掛けていく、体験の機会を作ることが大切。
- ・ 子どもたちが主体的に取り組むよう、身近な活動を通じて、驚きや達成感、残念感など様々な体験をさせることが大切。
- ・ 子どもたちにしっかりとした言語を付けさせるには、しっかりとした生活ができるようにすることが必要。
- ・ 親としては、子どものためにと思っているが、親の見栄や世間体を気にした発言や、子どものことを忘れていることがある。親として、しっかりと子どものことを考えていかなければと感じる。
- ・ まず、親が気を付けて、家庭での生活をしっかりとしたものにするのが大切。
- ・ 子育て協議会と学校が協議して、「ニコニコ子育て」という取組で、乳幼児を集めた取組を週1回実施している。その中で、育児の悩みなどを話したりしている。素晴らしいのは、学校との連携もと、地域からも発信していくところである。
- ・ 学校週5日制となり、土曜日は子どもを家庭にかえすといわれてきたが、今は土曜日は子どもを地域にかえし、地域ももっと支援していくことが必要。
- ・ 学校での取組を学校全体で行い、学校行事と地域行事の合同行事も多く、学校だけでなく家庭、地域の方々に守られているという安心感がある。このような良い取組を他に伝えることも必要。
- ・ 学校と地域がそれぞれの役割を果たし、互いに納得しながら、連携をした取組を行うことが大切。
- ・ 様々な取組を、まずは1回参加してみようと思わせるものにするのが大切。
- ・ 学校が今年度コミュニティスクールの指定を受けて、取組を行っているが、学校は教育委員会への報告に目が向けるのではなく、地域も納得して連携できる取組を行うことが大切。
- ・ 学校や行政の敷居を低くしていくことも大切。

○谷口委員

本日は、ありがとうございました。報告も良いことだけではなく、プロセスが大事であり、失敗しても課題を報告してほしい。教育界はピラミッドというイメージがある。が、逆ピラミッドでトップが下から支えると言う気持ちが大事である。現場も良いことだけでなく、いろんな事を伝えてほしいし、聞く方もしっかりと聞いて見極めていくことが大事である。本日は、様々な立場の方から多くの意見を聞くことができ、良かった。これを受けて何が出来るか考えていきたい。地域の方々も引き続き頑張っていたきたい。